

- 今月の内容**
- ・全国の聖徒団を訪ねて(1面)
 - ・お題目の道を歩む(1面)
 - ・韓国寶土寺(禹法顯住職)参拝研修(2面)
 - ・日蓮大聖人の歩まれた道(3面)
 - ・よろこびちゃんの質問箱(4面)
 - ・岩田先生の心も体も生き生き!(5面)
 - ・脳トレ「クロスワード」(5面)
 - ・全国のよろこびちゃん(6面)

日蓮大聖人御降誕800年
令和3年(2021)年2月16日

よろこび

聖徒のための情報誌



〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-25-11
喜助九段ビル702
九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341
ホームページ
www.yorokobi-reidanshikai.jp

2019年(令和元年) 9月号

発行所
日蓮宗全国霊断師会連合会

会長 大塩孝信
編集人 吉田憲由
購読料 1部 100円(税別)
毎月1回1日発行

全国の聖徒団を訪ねて

兵庫県加西市 円融寺聖徒団(山口忠信団長)

大団円の降誕八〇〇年慶讃事業!

円融寺のある兵庫県加西市は播磨平野の中央部に位置し、県立フラワーセンターを有する緑豊かな都市である。円融寺は明治二十二年の創立で、



円融寺の本堂

開山の二妙院日観上人は姫路円光寺二十一世隆妙院日進上人の高弟であり、加西の円融寺と篠山の園林寺を開いた。現住職の山口忠信上人は霊断布教一筋で、的確な指導で多くの聖徒の信頼を集めている。県下は勿論のこと、他府県からも山口上人の霊断指導を求めて訪ねる人が多い。かつては霊断師会本部理事として、本会を支える重要な役目を果たして来た。

お題目の道を歩む 〜俱生神月守と共に〜

寺原良一さん・いとえさんご夫妻

宮崎県都農町 龍雲寺聖徒団(吉田憲由団長)



二人は長年、魚の仲間を買入をしています。夫の良一さんは、朝早く暗いうちから遠方の魚市場へ、トラックで向

にはお施餓鬼や水行をしてからご祈禱を行うことで、自然と人が集まり、荒れていたお寺を復興させることが出来ました」と、奥様と二人三脚でお寺を復興してきた歴史を振り返る。口癖のように「ほんまに霊断のお陰やでえ」と自ら体験を交えながら熱く語る。また自身の経験を活かし、県下の若い霊断師の育成にも力を入れている。

午後からの落慶法要に先立ち、午前中に山門脇の仁王像開眼と本堂大屋根葺き替え工事の無事完成を祝する修法が行なわれ、本堂はお祝いに駆け付けた檀信徒や聖徒の方々に埋め尽くされた。小雨の降る中で読経が始まったが、十名の修法師が本堂から外に出る時には不思議と雨は止み、境内は暖かい陽射しに包まれ、仏天の御加護を参拝者一同実感した。



落慶法要の様子 中央が山口上人

平成三十一年二月十七日、円融寺では日蓮聖人降誕八百年慶讃法要が行われた。数年前から慶讃事業として永代供養廟建立、山門改修など境内整備を進めて来たが、その途中で本堂大屋根の雨漏りが発覚した。急な勧募にも関わらず、檀家の方々は勿論、山口上人の霊断布教によりお題目の信仰に出会った多くの聖徒からも多額の寄進が集まり、慶讃事業の総仕上げとして本堂大屋根葺き替え大円成という慶事を迎えることが出来た。



永代供養墓

山門脇の仁王像は境内整備に伴い伐採せざるを得なかった樟が使われている。伐採当日の朝方、山口上人の耳に「仏像を彫ってもらいたい」という不思議な声が聞こえた。その後、仁王像の建立に向けた計画が急に進んだそうである。一年の大半を海外で活動する世界的なチェーンソーアーティストである城所ケイジ氏による



山門と仁王像

かいます。妻のいとえさんは、毎朝欠かさず数名の婦人部と共にお寺への日参をされています。トラックの交通安全・家族の健康を祈り続けているのです。毎月の盛運祈願会では、いとえさんは受付に立ち、「俱生神月守」「よろこび」を一人一人に明るく声をかけながら配付し、良一さんは、お寺の広報部長として自分の車に

スピーカーを乗せて行事案内をしたり、行事の司会をしたり、皆を笑顔にしてくれている龍雲寺に無くてはならない存在となっています。しかし二人の人生は順風満帆だったわけではありませぬ。大切な人との辛い別れや、仕事の苦勞、本人の大病もありましたが、すべてを試練として受け入れ、家族みんなで俱生神月守を着帯し信仰で乗り越えて来られたのです。

その二人の姿に信仰の輪が広がり、お寺と地域の沢山の人が繋ぎ合われています。二人は「人生だから色々なことがあるのは当たり前、これからも感謝の気持ちを忘れずみんなでお題目を唱えて、唱えて唱え続けて、龍雲寺を地域を、益々盛り上げて行きます!」と素敵な笑顔で話してくれました。(宮崎・鹿兒島・沖縄通信員)

日持上人給出の靈場 **間法寺** もんぽうじ

毎朝5時半より「朝勤祈禱会」
9月23日(月)午前11時より「鬼子母神大祭」

〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住職 工藤 堯幸・副住職 工藤 堯慎

妙正寺聖徒団
菊地美恵子さんとひ孫の香藤悠月ちゃん(四ヶ月)

9月22日(日) 秋季彼岸会塔婆供養、龍口法難会。
毎月1日午前10時 盛運祈願会

北海道妙正寺聖徒団
〒071-1423
北海道 上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび **常唱寺聖徒団**

岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

山野 **妙頭寺**
日蓮大聖人御眞骨奉安

齊藤日軌貫首の著書&CD
感通CD 感通百万遍陀羅尼
スリチナルム
日蓮宗の戒壇、その現代的意義

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524/FAX 0283-22-4194

本妙山 **感通寺聖徒団**

〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

御降誕八〇〇年を目前に世界で広まるお題目 韓国 寶土寺(禹法顯住職) 参拝研修



信徒さんと共に

七月三日から五日の三日間、全国日蓮宗青年会(藤井教祥会長)主催で、韓国寶土寺(禹法顯住職)参拝研修が開催された。寶土寺では祈祷会が行われ、青年僧九名が出仕し、修法がなされた。

禹上人は二十四歳で兵役を終えたが、その直後に父親から日本で日蓮宗のことを学ぶように言われ、平成六年に立正大学に入った。また日本語が全く分からない状態で熊谷学寮に入り、厳しい寮生活が始まった。ストレスで髪の毛が抜けるなど、心身共に疲れ果てている中、唱題行のときに「大丈夫、あなたがど



青年僧による力強いご祈祷

こにいても私はあなたの後ろにいるよ」と声が聞こえたが、それはお釈迦様のお声だと確信をし、その後の修行生活の大きな励みとなった。仲間たちと共になんとか四年間を乗り切り、卒業後は松戸の本土寺での山務員を経て、平成十一年にソウルに一室を借りて小さな道場を始めました。お題目布教に励むなか、平成十八年に大荒行堂再行を成満し、大きな目標であった本堂を建立した。また、大荒行堂は四行を成満し、二年前に靈断師となった。禹上人は「靈断法は素晴らしい。この二年間で五百件の靈断指導を行ってきた。これからこの地でお題目布教に励んでいきたい」と今までの経験と今後の抱負を語った。

七月七日、青森県上北郡おいらせ町・唯円寺聖徒団にて夏の「大祭」(鬼子母神御法楽祭)が開催された。法要後は工藤堯慎師(青森県法寺聖徒団)を講師に迎えて一日伝道が開催され、四十五名の参加者が集まった。初めの自己紹介ではとても和やかな雰囲気となり、「仏法を学ばせんと、知恩報恩なかるべし」と日蓮大聖人のお言葉を紹介しながら、父母の恩について語られた。

夏の大祭で一日伝道を開催! 青森県上北郡 唯円寺聖徒団(葛原圭静団長)

「生前、大変熱心に信仰していた母だったが、その息子は信仰を背を向けていました。実は母の祈りのご利益は、その息子が一身に受けていたというの。家族の供養を永代とし、お金だけで済ませようとした結果、自らは重い病気となったが、それからやっと信仰の大切さに気づきました」と信仰の有難さ、供養の大切さに気付いたという法話であった。

物に溢れる現代の中で、目に見えぬものへの畏敬の念を忘れず、お題目信仰による感謝を育み、俱生神月守を着用すること、そして他をも救っていく喜びを味わってもらいたいと熱く語られた。



お題目信仰の大切さを説く工藤講師

青森県蓮華寺にて管区研修会



わかりやすい解説の飛鳥講師

七月十六日、青森市の蓮華寺に於いて支部研修会が執り行われた。今回の研修会は県外の講師を招くのではなく、県内の講師

師に九識靈断法の講義をいただくという初の試みで、一講目に工藤堯慎師(間法寺聖徒団)二講目を飛鳥玄龍師(道円寺聖徒団)が行った。県内の講師という事で普段はなかなか質問できない事も聞くことができ、講師も受講者もお互いに勉強になる化他即自行の実に有意義な研修会となった。

午後からは主に靈断師が持ち寄った靈断法の例題を、講師と参加者が一体となって意見を交わし、充実した研修となった。研修会の後には総会が開催され、初めに当会理事会議長でもある濱田壽教師より、会の体制についての説明がなされた。続いて事務局より活動報告、活動予定、会計報告、会則について慎重審議がなされた。また新靈断師の西川知孝上人が紹介され、会員一同さらに団結力が深まる研修会となった。

千葉県北部靈断師会で研修会

新靈断師と共に

六月二十五日、千葉県妙照寺において管区研修会が開催された。法味言上の後、千葉県北部靈断師会・若林壽学会長の挨拶で始まった。講師に濱田壽教師

(広島県常国寺聖徒団長)を迎え、午前中は教学を中心に「運命観」の講義がなされ、大変分かり易く、参加者一同改めて教学の素晴らしさに触れた。



濱田講師の楽しい講義

俱生神月守をみんなで持ちましょう!

俱生神月守 毎月身延山で開眼・祈願し 皆様の聖徒団に届きます



俱生神月守

俱生神月守は、宗旨(家の宗教)に関係なく持つことができるお守で「ぐしようにんつきまもり」と読みます。

日蓮大聖人様は「乙御前御消息」の中で、「人には必ず二の天影の如くに添いて候。所謂一をば同生天(どうしようてん)と云ふ、二をば同名天(どうみょうてん)と申す。左右の肩に添いて人を守護すれば失なき者をば天もあやまつ(誤る)事なし」俱生神(ぐしようにん)とは、同生・同名の二天の神様を一緒に言います。

人が命を宿した時にすでに守護を始めているとお釈迦様は仰っておられます。お釈迦様と日蓮大聖人様の教えの如く、いつもその人だけを守っている神なのです。

【同生天】:あなたの生命(健康)を守って下さる神さま。
【同名天】:あなたの生活(経済)を守って下さる神さま。

この二天「俱生神」の守護をしっかりと受けるために持つのが「俱生神月守」です。あなたの俱生神はあなただけを護ります。だれもが持つことができます。安心・安全・幸せのために、皆で俱生神月守を持ち、家族・友人・知人にも勧めましょう。

●家族みんなで着帯しましょう:家庭円満に安心して過ごせます。
●知人の悩みにも:分かち合うことの喜びを味わえます。
●引越しや旅行の時に:方位除け・盗難除けとして。
●靈断を受けたら:まず着帯して下さい。良い結果が訪れます。

※お寺の鬼子母神様、お稲荷様等のお札・お守と一緒に持たれても結構です。
〈大切なこと〉
○お題目を信じ、唱えて下さい。
○いつも肌身離さず、俱生神月守を着帯して下さい。
○毎月、月初めに新しい月守と必ず交換して下さい。

賑やかな大祭「信心題目祈禱会」

千葉県妙照寺聖徒団（瀬川観常団長）



日蓮大聖人のねぶた

出店には沢山の子ども達が遊びに来て、焼き鳥二千本、きゅうり六百本、ラムネ六百本など、夕方には完売となるブースもあった。十七時からは万燈行列が練り歩き、多く参加者で盛り上がり、無事に終了した。



万燈のメンバーへのご祈禱

七月六日、千葉県柏市・妙照寺聖徒団（瀬川観常団長）にて、信心題目祈禱会の大会が行われた。毎年七月の第一土曜日に開催されるが、梅雨時期の最中である。しかし十八年目の開催となるが雨が降ったのは一、二回程度。今年も予報は雨だったが、みんなで祈り龍神様に卵をお供えし、奇跡的にも午前十一時から午後九時までの開催時間のみ雨は降らなかった。

御開帳は十一時と十四時の二回、その間境内では、よきこいが披露され、ビンゴ大会があり、

第九十二回 日蓮大聖人の歩まれた道

立正安国への思い（その四）

靈断院教務部長

小泉 輝泰

「実相寺の学徒日源は日蓮に帰伏して所領を捨て、弟子檀那に放され御座て我身だにも置処なき由承り候に、日蓮を訪衆僧を哀みさせ給事、誠の道心也、聖人也。已に

彼人は無双の学生ぞかし。然るに名聞名利を捨てて某が弟子と成て我身には我不愛身命の修行を致し、私の御恩を報せんと面々まで教化申し、此の如く供養等まで捧げしめ給事不思議也」
（松野殿御返事）
日蓮大聖人の参籠中には、前回お話しした内房殿以外にも様々な妙縁がありました。説によりますと、滞在中の大



聖人は学僧より請われ『摩訶止観』の講義をされたといわれています。本来ならば寸刻の間も無駄には出来ぬところではありましようが、そこは一宿一飯の恩義を感じられたのでしようか、あるいは若き僧侶たちへ少しでも正しき佛法を学んで欲しいとの思いがあったのやもしれません。しかしそれも決して無駄なことではありませんでした。その講義を聴聞し、大聖人の深い教えに感銘を受ける者たちが現れたのです。



その一人が、当時実相寺で学頭の職に就いていた智海法印でした。智海法印は比叡山在学の折り、大聖人とは同期の学友であったともいわれる人物です。以前にご紹介した嚴善よりその才覚を認められ、若くして実相寺の学頭職を任されるまでとなつた。後には矢も盾もいらなくなつた智海法印は、己の立場を捨てて身延に御座します大聖人のもとを訪ね、改めて弟子になることを願いました。大聖人はそれをごころよく受け入れ、弟子としての名を与えます。それが冒頭の御書に記された「日源」の名なのです。

身延大会に団参しましょう！

宮崎県 本東寺団参一例



大本堂前で「はい、チーズ!!」



身延大会 大本堂行事



- 北山本門寺
- 1日目
 - 4時半 延岡市 本東寺 バス出発 バスの中で朝食
 - 6時半 宮崎空港 到着
 - 7時半 飛行機 宮崎空港発
 - 9時半 羽田空港 到着 徒歩で移動
 - 10時 大型バス 出発 海老名パーキング 休憩
 - 12時 富士宮市 小泉 本山 富士山 久遠寺参拝 お開帳 昼食(弁当)
 - 14時 バス移動
 - 15時 身延山 武井坊到着 受付
 - 16時 祖廟参拝
 - 17時 三門唱題行(やまびこ花火)
 - 18時 夕食
 - 19時 お風呂 下町散策 お買い物
 - 20時 就寝

- 2日目
 - 5時 起床 本山朝勤 希望者のみ
 - 6時半 朝食
 - 8時半 大本堂 身延大会開会
 - 11時 閉会 バス移動
 - 12時 ゆばの里 昼食
 - 14時 富士宮市 大本山 北山 本門寺 参拝
 - 17時 伊豆 伊東温泉 ホテル 温泉入浴
 - 18時半 夕食 宴会
 - 21時 就寝

- 3日目
 - 8時 バス出発 まないた岩 霊場
 - 9時半 伊東 伊豆法難 霊場
 - まないた岩 参拝
 - 10時半 本山 仏現寺 参拝 お開帳
 - 12時半 横浜 中華街 昼食 散策 買いもの
 - 14時 バス移動
 - 15時 羽田空港着
 - 16時半 飛行機発
 - 18時半 宮崎空港着陸
 - バス移動 バスの中で夕食弁当
 - 20時半 延岡市 本東寺到着 解散

富士山久遠寺



仏現寺

みおしえ



何(いか)なる世の乱れにも各各をば法華経・十羅刹、助け給へと湿れる木より火を出し、乾ける土より水を儲けんが如く強盛に申すなり

『阿闍梨法滅罪抄』文永十年(一二七三)宗祖御年五十二歳
訳:どのように世の中が乱れていても、あなた方のことを「法華経・十羅刹女よ、助け給え」と、湿った木から火を出し、乾いた土から水を得ようとする思いで、強盛に祈っているのである。どのような兵法よりも、法華経の兵法を用いていくべきである。



教学部長 和歌山県龍光寺聖徒団団長 松森孝雄

本抄では、不可能を可能にする強盛な「祈り」について教えられている。

日蓮大聖人は冒頭で「何(いか)なる世の乱れにも」と仰せである。本抄の御執筆前年の文永九年には「二月騒動」が起こり、文永十一年には「蒙古襲来」が起きる。

このように騒然とした世情の中、大聖人の門下は権力による非道な弾圧を受けた。何より大聖人ご自身が、死罪にも等しい佐渡流罪という大難の中におられたのである。しかし、大聖人は、そうした過酷な境遇にありながらも、諸天が弟子たちを護るよう、強盛な祈りを送られるのである。「各各をば法華経・十羅刹助け給へ」との仰せでは、乱世で苦闘する門下への大聖人ご自身の祈りが示されている。

「十羅刹は十羅刹女のごとく、積尊が法華経を説かれた会座(場所)において、諸天善神として法華経の行者を守護することを誓っている。

さらに強盛な祈りの姿勢について、大聖人は「濡れた木から火を出すように、カラカラに乾いた土から水を得ようとするように」と仰せであり、そこには弱い祈りは存在しない。大聖人は「弟子を必ず守る。どんな難事があっても必ず成就する」との、諸天を揺り動かしていく確信の祈りを貫かれていた。

こうした師の強き一念と慈愛に触れた弟子たちは、どれほど励まされたことであろうか。大聖人の末弟に連なる聖徒の皆様も、大聖人の強盛な祈りの中に生かされていることを思う時、これほど心強いものはないはずである。今度は大切な方のために、家族のために、自分のために、自身が強き一念を持って強盛な祈りを捧げたいものである。

よろこびちゃんの質問箱

三十五日忌ってどんな法要?

人が亡くなると、四十九日までのあいだ、一週間ごとに仏様の裁きを受けると言われている。中でも五週間目の三十五日は閻魔大王様の裁きを受けると言われている。生きていた頃の悪い行い・悪い行いを全て報告されて仏様の世界へ入るか、地獄の世界へ入るかを裁かれる大切な日なの。

追善の供養をするのが三十五日忌法要なの。「嘘をつく」と閻魔様に舌を抜かれる」という言葉も有名なね。そして私達の行いを閻魔さまに伝える神様が俱生神様なの。私も舌を抜かないようにお題目を唱えながら俱生神月守を持って、清く正しく美しく生きていかなきゃ!

そんな三十五日目の時に亡くなった人が無事に仏様の世界へ行けるように生きている私達がお題目をお唱えすることで、亡くなった人が無事に仏様の世界へ入れるように



よろこびちゃんに質問がある方は九段事務所までどしどし送ってね!

つながる通信員!



岐阜県美濃市 常唱寺聖徒団

阪口慈幸団長

阪口上人は昭和四十八年に靈断師になられた。常唱寺では月守に必ず名前・年齢・祈願内容を書きお渡しする。ほんの少しの工夫で聖徒さんの気持ちや前向きになり、信仰の方向性を示すだけでお題目・俱生神様のお導きをいたされると確信している。

常唱寺では毎月十五日に盛運祈願会を行っているが、まずは聖徒さんの話を聞き「寄り添える僧侶」を念頭に信頼関係を築いている。

お寺には阪口上人、奥様、長男、長男の奥様、次男と五人の靈断師がいる。

また、柔道一家で阪口上人が三段、長男三段、次男三段、岐阜県警察本部に勤める三男が四段、合わせて十三段である。聖徒さんの気持ちに寄り添い、共に信仰の道を進みます。

(紹介者 本田義昌通信員)

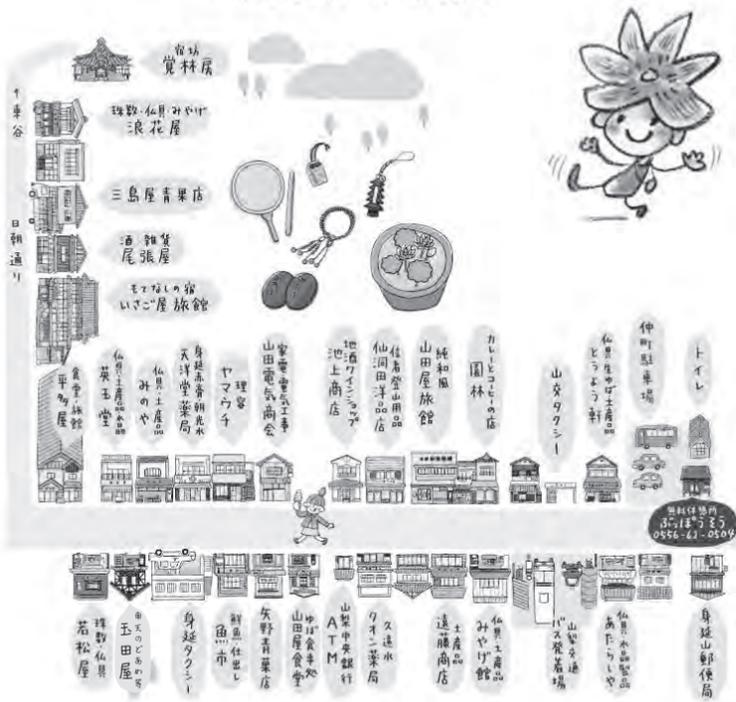
身延山下町紹介

池上商店(石屋)



門前町で唯一お菓子・飲み物等を提供している池上商店です。身延山の学生達の拠り所的な場所でもあり、参拝の方々の憩いのお店として現在に至っております。本山に参拝の方々、学生さん達が心安らかに参詣、勉強が出来る様にこれからも見守ってまいります。山梨のワイン・地酒も販売しております。お参りの折にはお気軽にお立ち寄りください。

門内商店街イラスト地図②





第54回全国聖徒団結集身延大会

令和元年10月23日(水)・24日(木)

お祖師様に会いに行こう！

令和初めての身延大会が、上記の日程で開催されます。参加を予定する聖徒団の皆様は、混雑が予想されますので、宿泊先である宿坊・旅館等に早目のご予約をお願い致します。

宿泊先を特定出来ない聖徒団の皆様は、『日蓮宗霊断師会・九段事務所』までお問い合わせ下さい。

◆千燈供養 千燈供養時に灯す竹灯籠の奉納を募集します(※大会に参加できない方の奉納もお受け致します)

◇志納 1燈 2,000円 ◇申込 別紙申込書に必要事項を明記の上、ご寺院にお申し込み下さい。

身延大会参加「記念品」

- ・お開帳札・散華
- ・霊山之契・しおり
- ・大会記念バッジ

身延大会スケジュール

※内容・時間は変更の可能性あり

十月二十三日(水)

- 午後三時 三門前受付
- 三時四十分 御廟所入口集合
- 四時十五分 祖廟参拜
- 五時 千燈供養

十月二十四日(木)

- 午前七時四十分 本堂前集合
- 八時三十五分 団旗観閲式
- 八時五十分 献灯・献華・献香
- 九時 記念法話
- 九時四十五分 輪番委嘱式
- 十時五十分 法味言上
- 大衆法楽
- 十時四十五分 誓いの言葉
- 十一時十五分 全日程終了予定

全国のよろこびちゃん vol.77

新潟県新発田市 法華寺聖徒団
(本田義昌団長)

筆頭総代のお孫さん(右から)

- 岩橋 脩くん(小学二年生)
- 渡久地 結希ちゃん(年中さん)
- 渡久地 莉恵ちゃん(小学一年生)
- 岩橋 菜乃ちゃん(小学五年生)

おじいちゃんに連れられてお寺参りに!!
素直で元気一杯の子どもたち!!
お寺が大好き!!

ほつと絵手紙

「ほつと絵手紙」を募集いたします。下記の宛先まで!

〒110-0051 東京都千代田区神田神保町3-25,11
喜助九段ビル702
日蓮宗全国霊断師会連合会九段事務所

宮崎県 大橋厚子さん(上)、福岡県 坂本貞夫さん(右)、
北海道 山田なつ子さん(左)の絵手紙です。
ありがとうございました。

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

安房乃國随一
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

長栄寺聖徒団
横田 富久江さん

清掃奉仕で、窓ガラスを
いつもきれいにしています。

三松山 長栄寺
〒100-0402
東京都新島村本村3-1-4
TEL 04992(5)0168
FAX 04992(5)0111

利生寺

霊断院院長
利生寺聖徒団団長

末吉 観道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗霊断師会連合会 会長
日蓮宗宗会議長
正蓮寺聖徒団 団長

大塩 孝信

〒290-0151 千葉県市原市瀬又134-1
TEL 0436-52-0207
FAX 0436-52-2288